

各位

会社名 東洋合成工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 木村 有仁  
(コード番号:4970 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生  
電話番号 03-5822-6170

## 千葉工場で先端半導体需要拡大に向け感光材の製造設備を増設

東洋合成工業株式会社は、千葉工場(千葉県香取郡東庄町)内の第4感光材工場において、先端半導体向け感光材の製造設備を増設し、このほど竣工しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 建設の目的

今後の持続可能な脱炭素社会の実現に向けて、あらゆるデバイスの最適運用が必須とされ、リアルタイムネットワークの大容量化、AIの活用もさらに促進され、電子デバイスや半導体が未来の社会インフラを担うと期待されています。

特に半導体分野では2020年から2030年の10年間で2倍以上の市場成長が予測され、世界各国ではすでに戦略的投資競争が加速し、より高性能な電子デバイスの実現のために多くの機能性材料の供給拡大が望まれています。

当社ではその実現に向けて、長年培ってきた高純度合成・精製技術にさらに磨きをかけ、急増する需要と顧客品質を満たす安定供給体制を強化するため、先端半導体向け感光材の製造設備を増設いたしました。今回の設備投資により、千葉工場の先端半導体向け材料の生産能力は2022年3月期比で最大1.8倍の規模となります。

当社の2027年3月期を最終目標とする現中期経営計画 Beyond500 の設備投資計画は、順調に進捗しており、特に能力増強となる大型投資は、今回の先端半導体向け感光材の製造設備の増設で完了となります。

これまでに実施してまいりました、淡路工場の蒸留塔増設(2022年4月完成)および充填所増設(2024年3月完成)による高純度溶剤の品質向上・供給力強化、千葉工場の開発分析棟(2024年5月完成)による製造技術力・分析体制の強化とともに、今後さらに成長・進化が見込まれる半導体市場の需要に応え、最先端品質を満たす安定供給体制を実現してまいります。

#### 2. 千葉工場 感光材製造設備増設の概要

名称	千葉工場 第4感光材工場 先端半導体向け製造設備
工場所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号
主な生産品目	先端半導体に対応した感光材、ポリマー製品
延床面積	3,483 m <sup>2</sup>
投資金額	約120億円

以上

■ 第4感光材工場外観



■ 9月30日の竣工式の様子

